

報告事項キ

小学校教諭を対象とした「Scratch（スクラッチ）によるプログラミング体験教室」の開催結果について

小学校教諭を対象とした「Scratch（スクラッチ）によるプログラミング体験教室」の開催結果について、別紙のとおり報告します。

平成29年9月6日

鳥取県教育委員会教育長 山 本 仁 志

小学校教諭を対象とした「Scratch（スクラッチ）によるプログラミング体験教室」の開催結果について

平成29年9月6日
教育環境課

平成32年度から小学校におけるプログラミング教育が必修化されるのに向けて、授業づくりの参考となるよう鳥取市小学校教育研究会情報教育部会と協力し、鳥取県ICT活用教育推進協働コンソーシアムの事業として下記のとおりプログラミング体験教室を開催しました。

記

- 1 期 日 平成29年7月26日（水）午前8時45分から11時45分まで
- 2 会 場 鳥取市立浜坂小学校（（鳥取市浜坂一丁目14-1）
- 3 受講者 約90名（小学校教諭）
- 4 概要

（1）講演「NHKが考えるプログラミング教育」

講師：NHK青少年・教育番組部 チーフプロデューサー 林 一輝 氏

- すでに一部の学校では授業でも活用されているNHKの教育番組「Why！？プログラミング」が目指すプログラミング教育のねらいやこれまでの番組での取組等を紹介。
- プログラミング教育は、「①創造・表現」、「②発表・シェア・評価」の2部構成で行うものであり、実際にプログラミングを行う体験を通じてプログラミング的思考を身に付けさせることがねらい。
- 算数ではプログラミングによる正多角形の作図や理科ではセンサーを用いたLEDの制御といった具合に、具体的に各教科の授業と結びつけた学習方法が紹介された。

（2）スクラッチによるプログラミング体験

講師：鳥取市教育委員会 ICT 教育推進員 北尾 明子 氏ほか

- アメリカのマサチューセッツ工科大学で開発されたプログラミング言語「Scratch（スクラッチ）」を使って、受講者がプログラミングを体験した。
- スクラッチでは、ブロックのような形をした各種の指示（「どの座標まで動かす」「何回繰り返す」など）を組み合わせることで、キャラクターを動かしたり、線を引かせたりといった動作が可能。
- プログラミングにより「勾玉の形を線で描く」、「簡単なアニメーションを作成する」といった課題が与えられたが、ほとんどの受講者がプログラミングを体験するのが初めてということもあり、四苦八苦しながら取り組んだ。
- 受講者からは、「試行錯誤のプロセスが面白い。」といった感想や「自分がかたがたと操作に慣れないと授業に取り入れるのが難しい。」、「体験を通じて子どもたちにどんな力をつけさせるかしっかり考えないといけない。」といった意見があった。

